

令和5年7月21日

関係各位

京都市立堀川高等学校
校長 橋 詰 忍

京都市立堀川高等学校 令和5年度第25回教育研究大会 兼 令和4年度指定SSH中間報告会のご案内 (第二次)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は本校教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、来る9月15日(金)に本校におきまして、第25回教育研究大会を下記のとおり開催いたします。

本大会は、京都市立高等学校改革のパイロット校に指定された本校の教育活動を公開し、ご指導とご助言を仰ぐとともに、よりよい高等学校教育の実現に向けて活発な交流を行うために開催するものでございます。なお、今年度は、令和4年度に指定を受けましたSSHの中間報告会を兼ねて開催いたします。

時節柄、ご多用のことと拝察いたしますが、多くの方々にご参加をいただき、ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

記

研究大会テーマ

堀川高校令和5年度 校内研究テーマ

「目標・課題点を生徒と共有する評価」～生徒が主体的に学習するために～

SSH認定校 取組の目的

「自身の探究の意義、目的を認識させることで主体的な探究に繋げる指導法の実践・共有」

日程と内容

事前の動画配信 : 令和5年9月 8日(金) 17:00 ~

当 日 : 令和5年9月 15日(金) 8:45 ~ 16:20

(1) 全体会 I (事前動画による実施)

全体会 I は、YouTube による事前動画配信 (限定公開) をさせていただきます。

配信期間 : **令和 5 年 9 月 8 日 (金) 17:00 ~ 9 月 15 日 (金) 17:00**

内 容 : 令和 4 年度からの新カリキュラム
「探究基礎」(総合的な探究の時間)の目標
「探究基礎」および「理数探究基礎」の内容や運営
令和 4 年度指定 SSH の取組

9 月 15 日 (金) 当日のスケジュール

8:15	受付開始
8:45-9:00	(2) 開会式 ・挨拶 ・趣旨説明
	移動
9:25-12:25	(3) 探究基礎研究発表会 (2 年生個人研究) 見学
	昼食
13:50-14:20	(4) ゼミ会見学
	移動
14:30-15:30	(5) 分科会
	移動
15:40-16:20	(6) 全体会 II
16:20	終了

(2) 開会式 (8:45-9:00)

挨拶

京都市教育委員会 指導部 担当部長 **菅野 明宏 氏**
京都市立堀川高等学校 校長 **橋詰 忍**

趣旨説明

(3) 探究基礎研究発表会（2年生個人研究）見学（9:25-12:25）

新カリキュラムでは、「探究基礎Ⅰ」前期（HOP）において自身の興味・関心を広げたり深めたりしながら、「課題の設定」に至る過程を楽しむ姿勢を養うことを目的とした。探究の過程は、「課題の設定、情報収集、調査・分析、まとめ・表現」のサイクルであることを考えれば、一般的には探究のスタートと捉えられがちな「課題の設定」も、探究の成果と捉えることができる。今回は新カリキュラムで学んだ生徒による初めての発表会であり、自身の探究の過程を歩んできた生徒が発表する様子を見てもらいたい。

(4) ゼミ会见学（13:50-14:20）

これまでの探究の過程や当日の発表会で得た学びを生徒がどのように捉え、今後に生かそうとしているか。また、それに対して教員がどのようにコメントしているかを見てもらいたい。

(5) 分科会（14:30-15:30）

① 個人研究に取り組む生徒とどのように対話するか

生徒との面談、ワークシートや論文の添削、「探究基礎」中間発表会での指摘など、場面に応じて生徒と対話することによって、生徒のモチベーションはどのように変化するのか。生徒の意図や意欲、つまづきなどを把握し、生徒に伸ばしてほしい力を教員が生徒に伝えるためにはどのような指導が効果的なのか、本校の事例を交えながら議論したい。

② 総合的な探究の時間における指導をどのように教科指導に生かすか

生徒が「探究基礎」で培った力を教科学習に活かしたり、その力が教科学習においても有効であると実感したりするのはどのように場面か。また、教員が「探究基礎」と教科における指導を関連させるためにはどのような意識を持って指導すべきか、本校の事例を交えながら議論したい。

③ 総合的な探究の時間を生徒の進路選択にどのようにつなげるか

「探究基礎」の学びや体験、振り返りを、将来の自己実現に向けた進路選択にどのようにつなげるのか。学校推薦型選抜や総合型選抜といった、生徒の能力・適性、学習意欲、目的意識などを総合的に評価される選抜に対する本校生徒の状況や指導事例を交えながら、進路指導等のあり方について議論したい。

④ 課外における探究活動に取り組む生徒の能力をどのように伸ばすか

「探究基礎」での学びや体験、振り返りを活かして、本校独自の課外活動「探究道場」（中学生に向けた探究ワークショップ）に取り組む本校生徒の様子や指導事例を紹介するとともに、生徒の主体的に目標を設定する力や協働的に創造する力などの育成について議論し、さらなる可能性を模索したい。

(6) 全体会Ⅱ（15:40-16:20）

分科会の内容交流

質疑応答

閉会の挨拶

会 場

京都市立堀川高等学校

〒604-8254 京都市中京区東堀川通錦小路上る四坊堀川町 622-2

参 加 費 お 申 し 込 み

- (1) 参加費 : 無料
- (2) 参加対象 : 学校関係者、教育関係者
- (3) 申込期間 : **令和5年8月21日(月) 13:00 ~ 9月1日(金) 13:00**
- (4) 申込方法 : 検索サイトから、[堀川高校 研究大会 2023](#) で検索し、
本校 web サイトをご確認のうえ、「申込フォーム」よりお申し込みください。
右の QR コードから「申込フォーム」を開くことも可能です。



<本研究大会のお問い合わせ>

京都市立堀川高等学校 研究部(担当:遠、井上)

メール : kenkyu-info@horikawa.ed.jp

電 話 : 075-211-5351

以上